白山市行政経営指針2020

令和5年度 行財政改革取組事項実施報告

令和6年度 行財政改革取組事項実施計画

13の重点項目別達成目標に係る取り組み
令和5年度実施報告・令和6年度実施計画

1 行政戦略

① 業務執行体制の充実

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
1	事務事業 総点検 の充実	⑯平和 ⑰実施 手段	PDCAマネジメントサイクル の実施	R5 年度	・中期計画・予算編成時に見直しを実施 ・プロジェクトチーム数 R5:3チーム(R4:2チーム)
			プロジェクトチームを活用 した事務事業の実施	R6 年度	・引き続き中期計画・予算編成時で必要に 応じて見直しを実施 ・プロジェクトチームを積極的に活用
		⑪都市	公用車更新計画に基づく 適正管理 R6年度に稼働率71%	R5 年度	R5 更新台数11台(11台廃棄)、稼働率 67.5%(R4:66.7%)
				R6 年度	適正台数に向けて更新を進め、使用効率 の向上を図る 更新予定台数 8台(8台廃棄)、稼働率 71.0%
		⑰実施 手段	総合計画に基づくPDCA マネジメントサイクルの 実施 第2次総合計画 (計画期間H29-R8)	R5 年度	・総合計画審議会で進捗状況の確認(666 の取組のうち、95が目標を達成、495が一 定の進捗があると評価)
				R6 年度	引き続き計画の進捗管理を適切に行い、計 画を着実に進めていく
2	組織機構の 改革推進	⑯平和 ⑰実施 手段	市民ニーズに対応した 組織機構の改編 ※毎年度、組織機構を 見直し	R5 年度	・DX推進総合調整室、ゼロカーボン推進室の設 置 ・文化振興課と文化財保護課を文化課に、水道 課と下水道課を上下水道課に統合 ・定住推進課を定住推進室とし、企画課内に設 置
				R6 年度	社会のニーズに応えるよう組織機構の見直 しを検討・実施する。
3	SDGs の推進	⑰実施 手段	SDGs推進本部会議の 定例化 普及啓発事業の充実	R5 年度	・本部会は能登半島地震のため未開催。 ・9月20日(水)～10月7日(土)SDGsフェ スタ(児童館) ・7月28日(金)ティーンズロックin白山2023 を開催(白山青年会議所、松任高校・翠星 高校生徒)。 ・8月26日(土)海を守ろうSDGsを開催(千 代野公民館、中奥公民館、金城大学、金城 大学短期大学部、FM石川、ぶんぶんボウ ルほか) ・10月15日(日)バルーンリリース(松任高 校)、SDGsスタンプラリー(星稜高校)
				R6 年度	今後も各種団体と連携しながら、SGDsの 普及啓発に努める。

② 計画的・効率的な事務事業の執行

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
4	中期計画の重点化	⑩都市	事務事業の選択と集中 (140件以下)	R5年度	R5: 126事業(R4: 125事業)
				R6年度	・ローリング調査により、既存事業及び新規事業を精査し、計画的かつ将来に向けた財政負担を軽減できるように努める。
5	事務改善の実施	⑩平和 ⑩実施手段	1係1事務改善運動の推進 (全係で1件以上実施)	R5年度	全係で「1係1事務改善」150日チャレンジの取組を実施 R5:152件(R4:157件)
				R6年度	9月初旬から2月初旬まで実施
6	事務事業のアウトソーシング等の推進	⑩都市	アウトソーシングの推進 コンビニ交付による発行件数 (住民票等 800件・税務証明書 500件)	R5年度	マイナンバーカードを利用した住民票等の交付 ・コンビニエンスストアでの交付 ・本庁・支所及び市民サービスセンターに設置した自動交付機での交付 R5: 住民票等23,782件、税務証明書1,165件 (R4: 住民票等13,571件、税務証明書681件)
				R6年度	コンビニでマイナンバーカードによる証明書交付の利便性について周知に努める
7	AI・RPAの活用	⑨イノベーション	AI及びRPAを活用した定型業務の効率化 ・AI-OCR(紙の申請書をAIとOCRを使って電子化(エクセル化)) ・RPA(パソコン上で簡単な繰り返し作業を自動化するもの)	R5年度	会計伝票の審査処理、児童手当、所得照会、臨時特別給付金等、多数の業務で使用し業務の効率化が図られている
				R6年度	AI-OCR・RPA導入後4年が経過し、特性により適合可能性が高い業務・低い業務の判断ができるようになり、適合性が高い業務については、積極的な導入を行い業務の効率を図る。

③ 公共インフラの最適化

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
8	個別施設計画の策定	⑨イノベーション ⑩都市	個別施設計画の策定 ・白山市公共施設等個別施設計画(R3.3) ・白山市学校施設長寿命化計画(R3.3)	R5年度	小中学校等施設の長寿命化改良工事等を実施した。
				R6年度	財政負担の平準化を図りながら改修等を実施する。
9	公共施設等総合管理計画の充実	⑨イノベーション ⑩都市	適正管理に取り組むことによる効果額の明示	R5年度	小中学校等施設の長寿命化改良工事等を実施した。
				R6年度	財政負担の平準化を図りながら改修等を実施する。

2 財政戦略

① 市税等の自主財源の確保

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
10	税収拡大政策の推進	⑧成長・雇用	企業誘致による税収拡大 新工業団地の整備・分譲	R5年度	旭工業団地北部地区第1期エリアにおいて、分譲先企業が操業に向け建設中である。
				R6年度	旭工業団地北部地区の第2期エリアの整備を進め、企業誘致を図る。
		⑧成長・雇用 ⑫生産・消費	宿泊客数の増加 [目標値変更] 白山市総合計画(後期計画)の見直しにより、目標数値を変更 令和6年度 259,000人(変更前)⇒218,000人(変更後) ※R元年度実績 212,710人を基準として年0.5%増を見込む	R5年度	三大都市圏で着地型旅行商品のプロモーションを実施したことや、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあり、全エリアにおいて観光客や宿泊客は前年比増となった。 166,374人(R4:126,327人)
				R6年度	地域内での着地型旅行商品の造成等により、地域の魅力の向上と発信を進めることで市内での宿泊者の増加を目指す。
11	納税相談の充実や滞納対策の強化、口座振替の推進等	⑪都市	口座振替率の向上(42.5%)	R5年度	40.6%(R4:40.0%)
				R6年度	納税相談等の早期対応に努め、財産調査の徹底とともに悪質滞納者への滞納処分を強化する。口座振替の推進について引き続き進める。
12	債権管理の充実	⑪都市	市税収納率(現年度)の向上(99.6%) その他債権の収納率向上	R5年度	99.43%(R4:99.69%)
				R6年度	強制徴収債権の担当課で情報共有の徹底とともに、滞納処分の執行についても連携を図る。
13	使用料や手数料の適正な金額への見直し	⑫生産・消費 ⑯平和	適正な金額への見直し	R5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.1月から住民票や市税証明関係のコンビニ交付が開始。必要手数料を設定 ・R3.2月からキオスク端末による証明書等の発行が開始。必要手数料を設定 ・R2.10月から窓口でのキャッシュレス決済開始。必要手数料を設定(文化施設等にも導入) ・施設改修に合わせて、使用料金を見直し(R3.4～鶴来ほうらい荘) ・R4.10月から証明書等の電子申請にかかる必要手数料を設定 ・施設改修に合わせて、使用料金を見直し(R5.4～松任総合運動公園等) (陸上競技場等の改修により使用料を見直し)
				R6年度	毎年度予算編成方針の中で、適正な積算について周知、見直しを図る。

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
14	有料広告媒体の創出	⑯平和 ⑰実施 手段	広告料収入 5,000千円以上 新たな有料広告媒体の創出	R5 年度	市広報、市HPバナー、市民課窓口、コミュニティバス(バス停・車内等)、水道検針票のお知らせなどの媒体で実施。 8,601千円(R4:8,364千円)
				R6 年度	新たな媒体の可能性等について研究する。
15	ふるさと納税制度の推進	⑯平和 ⑰実施 手段	ふるさと納税額 (2億円(200,000千円)以上)	R5 年度	403,962千円(R4:490,689千円)
				R6 年度	寄付金収入の増加を目指し、新たな返礼品などの提供を検討し、安定した自主財源へとつなげていく

② 基金の有効活用

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
16	財政調整基金や減債基金の時宜に応じた有効的な運用	⑯平和 ⑰実施 手段	適正水準の確保	R5 年度	R5年度末の残高 財政調整基金2,913,101千円(R4:2,990,753千円)、減債基金887,701千円(R4:739,034千円)
				R6 年度	中期計画や予算編成において財政調整基金等の時宜に応じた有効・計画的な運用を行い、基金の適正水準を維持する。
17	未利用資産の売却による公共施設整備基金の確保と活用	⑯平和 ⑰実施 手段	未利用資産の売却件数 15件/年以上 ※当初の目標「空きスペースの有効活用」については未耐震施設であるなど、活用が困難であるため、基金の確保に向け、目標を変更した。	R5 年度	32件 74,849千円 (R4:17件 13,549千円)
				R6 年度	未利用資産(法定外公共物含む)の売却を積極的に行い基金の確保、有効活用を図る

③ 適正な財政規模の確立

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
18	事業実施計画に基づく財政計画の実行	⑯平和 ⑰実施 手段	中期実施計画に基づいた実施	R5 年度	前年度中期計画を反映した当初予算の編成を行った。 R4中期財政計画におけるR5一般会計予算見込54,305百万円 R5一般会計当初予算額 50,727百万円
				R6 年度	・将来負担を考慮した費用の平準化 ・計画を議会に示し事業実施順位や費用の見える化を推進

実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
			R6年度 実施計画	
19 財政指標の適正化	⑩平和 ⑪実施 手段	経常収支比率の適正水準を維持 (地方税、地方交付税などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す数値)	R5年度	経常収支比率 R4決算:94.9%(R3:88.2%) ・分母:前年比▲2,467百万円(地方税▲533百万円、臨時財政対策債▲1,937百万円) ・分子:前年比+45百万円(電気料値上げや賃金引上げ等による物件費の増+287百万円、法人保育園運営負担金の増+253百万円等による扶助費の増、猶予特例債の等の償還終了による公債費の減など)
			R6年度	経常収支比率の適正維持
20 特別会計及び企業会計の経営健全化 ・国民健康保険特別会計(国保) ・介護保険特別会計(介護) ・後期高齢者医療特別会計(後期) ・墓地公苑特別会計(墓地)	③保健 ⑥水・衛生	特別会計の健全化 国保:保険税率等の見直し 介護:口座振替の周知徹底 後期:保険料の見直し 墓地:竹松墓地50区画以上/年の貸与、合葬墓の貸与30件	R5年度	・国保:課税限度額(支援金分)を引き上げ。 ・後期:R6.7年度保険料率の見直しを実施 ・介護:インターネットでの口座振替の申込みについて周知に努めた。 ・墓地:竹松墓地 貸与区画数76区画(R4:51区画)、合葬墓埋蔵件数56件(R4:53件)
			R6年度	・国保:税率改正の検討 ・後期:保険料率改正の検討 ・介護:口座振替納付を推進 ・墓地:竹松墓地公苑新規区画貸与50区画、合葬墓埋蔵件数30件を見込む
	⑥水・衛生	上下水道料金体系の継続的な見直し ※上下水道料金検討委員会からの答申に基づき、白山ろく簡易水道料金の改定と事業計画による施設整備を推進する。	R5年度	白山ろく地域をその他の上水道料金を統一するため、5年間で段階的に3段階で引き上げることとしており、R3.4.1に第1段階の料金改定を実施。R5.4.1に第2段階の料金改定を実施した。
			R6年度	令和7年4月1日から計画のとおり最終段階の料金改定を実施するため、広報等で周知を実施していく。
21 補助金・負担金等の見直し	⑩平和	適正な金額への見直し	R5年度	当初予算補助金計上額:2,422,039千円(R4:2,281,961千円)前年比 +140,078千円
			R6年度	引き続き、当初予算編成時に補助金一覧表を作成、決算時に補助金決算調書の作成を行い、現状周知・把握及び随時見直しを行う。
22 セグメント分析の活用	⑩平和	分析により施設を横断的に比較し、公共施設総合管理計画に結果を反映	R5年度	決算資料等を参考に一部の社会教育施設を対象に研究
			R6年度	公民館の対象をさらに拡大しながら集計手法やデータの蓄積を踏まえ、地域ごとに順次分析していく

④ プライマリーバランスを意識した均衡ある市債の活用

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
23	財政計画に基づく市債の発行と市債残高の抑制	⑩平和 ⑪実施手段	実質公債費比率の適正水準維持 ※収入のうちどれくらいを借金返済にあてているかを示すもの 18%以上 起債許可制	R5年度	R4決算ベース11.3%(R3:11.0%) 3カ年平均では+0.3%だが、R4年度の単年度のみでは、実質公債費が減少し、前年度比▲1.2%の11.2%
				R6年度	引き続き、財政計画に基づく市債発行と市債残高抑制を行う。
24	起債事業のスリム化、優先度の明確化、平準化	⑩平和 ⑪実施手段	中期事業実施計画に基づいた実施	R5年度	R4年度末残高 84,128百万円 (R3年度末:84,181百万円) 交付税措置率 約36.5% 活用事例: 野球場建設事業 191,200千円(緊防) 緑寿荘整備事業 170,200千円(緊防) スキー場整備事業 78,100千円(辺地)
				R6年度	中期実施計画に基づき起債を管理 有利な起債(交付税措置が高いもの)の活用

⑤ 市が出資する外郭団体等の経営改善

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
25	自立的な経営の確立を促進	⑮陸上資源	土地開発公社の経営健全化 ・簿価総額/標準財政規模を20%以下 ・5年以上保有土地の簿価総額/標準財政規模を10%以下	R5年度	・簿価総額/市標準財政規模 5.29%(R4:7.33%) ・5年以上保有土地の簿価総額/市標準財政規模2.84%(R4:3.24%)
				R6年度	総務省の第3次土地開発公社経営健全化対策に基づき、引き続き経営の健全化に取り組む。
		⑧成長・雇用 ⑫生産・消費	地域振興公社の経営健全化 ・職員数の適正化(R6年度に42人以下)	R5年度	職員数 41人(R4:46人)
				R6年度	人員の削減による経営の健全化を図る

3 人材戦略

① 働き方改革の推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
26	ワーク・ライフ・バランスの推進	⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	年次有給休暇取得の促進 (R6平均取得日数12日/人以上)	R5年度	10.7日/人(R4:9.9日)
				R6年度	年次有給休暇や夏季休暇等の特別休暇も含め、取得促進を奨励し、職員に周知を図る。
		⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	男性職員の育児休暇取得の促進(R6取得率20%以上)	R5年度	45.5%(取得者5人/対象者11人)(R4:37.5%)
				R6年度	子が誕生した男性職員に育児休業取得を勧める。
27	メンタルヘルス対策の推進	⑧成長・雇用	ストレスの少ない職場環境 (R6 高ストレス職員の割合10%以下)	R5年度	16.4%(高ストレス職員数146人/全職員数(会計年度任用職員含む)890人(R4:17.9%))
				R6年度	ストレスチェックを踏まえて、所属長への聞き取りや産業医による高ストレス者への面談指導等を通じ、より良い職場環境の実現に努める。
28	ハラスメントの防止	⑧成長・雇用	ハラスメント研修の実施	R5年度	全職員を対象としたハラスメント研修を実施
				R6年度	継続したハラスメント研修を実施

② 多様な人材確保と育成の推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
29	女性職員の活躍推進	⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	管理職に占める女性の割合 (令和6年度 30%)	R5年度	28.0%(女性 28人/管理職 100人) (R4:31.6%)
				R6年度	各種研修や所属長との面談、指導等を通して、職員の資質向上を図り、女性管理職を目指す職員の育成に努める。
30	人事評価制度の活用	⑧成長・雇用	人事評価制度の評価結果の反映(昇給・昇格・手当への反映) ・H28年度～ 一部制度導入 ※勤奨手当算定の参考	R5年度	年度当初に当該年度の目標の設定、年3回(当初・中間・期末)の所属職員と所属長との面談・評価結果のフィードバック等を実施することで、業務の進捗を確認し、職員の育成を図ってきた。評価レベルの均一化を図るため、年度当初に評価者研修を行い、面談の進め方等について、外部講師による研修を実施した。
				R6年度	当該年度の目標の設定及び所属職員と所属長との面談・評価結果のフィードバック等を実施することで、業務の進捗を確認しながら、職員の育成を図る。評価者研修等を通じて、評価レベルが均一化され、マニュアルに従った人事評価を実施する。
31	研修制度の充実	⑧成長・雇用	指定研修※の受講率向上 (150%以上) ※市町村アカデミー、国際文化アカデミー、NOMA、自治大学校、自治研修センター、職員課企画研修	R5年度	75.0% (受講者数536人/職員数715人) (R4:96.3%)
				R6年度	・業務に関する知識、技術の向上に資する研修の企画、実施する。 ・職員に研修への参加を積極的に促す。

4 市民協働・広域連携戦略

① 市民協働で創るまちづくりの推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
32	地域が自主的、主体的に考え組織し、行動するまちづくりの推進	⑪都市 ⑰実施手段	地域コミュニティ組織の創設 全地区(28地区)	R5年度	・組織設立 19地区(松任、柏野、笠間、宮保、一木、出城、御手洗、旭、郷、加賀野、一ノ宮、鶴来、蔵山、林、館畑、河内、吉野谷、鳥越、尾口)
				R6年度	・市内全28地区において地域コミュニティ組織が設立し、地域主体の地域づくりを推進する。
33	女性や若者、高齢者の参画に基づく地域づくり	⑪都市 ⑰実施手段	多様な市民が地域づくりに参画する機会の創出 (講習会 年1回以上)	R5年度	・地域づくり交流会 1回開催
				R6年度	・地域コミュニティフォーラムの開催(対象:一般) ・地区大交流会(対象:全地区)
		③保健 ⑪都市	・高齢者が参加する研修会の開催 ・サポーターを増員 介護予防サポーター10人/年 生活支援サポーター10人/年 認知症サポーター750人/年	R5年度	・生活支援サポーター養成講座1コース(3回/1コース) ・介護予防サポーター養成講座1コース(3回/1コース) ・生活支援サポータースキルアップ講座2回 ・介護予防サポータースキルアップ講座4回 ・認知症サポーター養成講座11回
				R6年度	引き続き高齢者が参加できる研修会を開催
		⑤ジェンダー	審議会等の女性委員比率 (40%)	R5年度	31.6%(R4:30.8%)
				R6年度	委員改選の際に積極的な登用を図る
		⑰実施手段	市内全域に町内会の福祉協力員を配置 (R6までに280町内会に配置)	R5年度	276町内会(R5:272町内会)
				R6年度	・地区の会議に参加し、町内会長、市民へ一層の周知を図る ・先進的な地区の事例発表や活動内容の周知を図る

② 市民・市民活動団体・高等教育機関等との連携推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
34	オープンデータ等行政情報の提供による市民との自主的、自発的な活動の支援	⑨イノベーション	石川中央都市圏単位で共同データを公開	R5年度	・石川中央都市圏で決定した項目について、全て公開 ・県が運営するいしかわオープンデータカタログサイトにも同様のデータを公開
				R6年度	引き続き石川中央都市圏で決定した項目を公開(いしかわオープンデータカタログサイトも含めて)する
		⑪都市	まちかど市民講座を開催(R6年度 130回以上) ※内容を工夫し、市民の意見や提案を聴けるようにする。	R5年度	98件(R4:119件) 開催数が多かった講座 ・「ジオパークって何だ?!～ふるさとの宝さがし」13回 ・「知って得する消費トラブル対処法」10回 ・「新耐久テストで自分の体力を知ろう」8回
				R6年度	目標130回(新規講座:白山市多文化共生「やさしい日本語で伝えてみよう」)
35	高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組みの充実	⑪都市 ⑰実施手段	高等教育機関との連携事業数を増加(70件)	R5年度	高等教育機関等連携事業 44件(R4:48件)
				R6年度	・高等教育機関と連携した地域課題に対する調査・研究の実施 大学コンソーシアム石川の地域課題研究ゼミナール支援事業や高等教育機関との連携により、専門性を活かし、地域課題の解決や活性化を目的とした事業の調整等を行う。
(3)	SDGsの推進(再掲)	⑰実施手段	SDGs推進に向けた団体との連携充実(毎年5団体以上と連携して事業を実施)	R5年度	関係団体と連携した普及啓発活動を実施。11団体(金沢工業大学、白山青年会議所、千代野コミュニティセンター、出城コミュニティセンター、御手洗コミュニティセンター、吉本興業(ぶんぶんボウル)、金城大学、金城大学短期大学部、かなざわ食マネジメント専門職大学、松任高校、金沢星稜大学、LODU)(R4:11団体)
				R6年度	各種団体と連携し、普及啓発活動を行う

③ 広域連携の推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R5年度 実施報告	
				R6年度 実施計画	
36	石川中央都市圏における連携推進	③保健 ④教育 ⑪都市 ⑰平和	連携中枢都市圏における連携推進 ・石川中央都市圏ビジョンに基づく広域的な取組	R5年度	広域連携実施事業74事業(R4:77事業)
				R6年度	連携の強化を推進していく